

# JIS

## コンクリート用スラグ骨材ー 第5部：石炭ガス化スラグ骨材

JIS A 5011-5 : 2020

(JCOAL/JSA)

令和2年10月20日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宇 治 公 隆	東京都立大学
(委員)	綾 野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	石 田 知 子	株式会社大林組
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	加 藤 絵 万	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
	鎌 田 敏 郎	公益社団法人土木学会 (大阪大学)
	木 幡 行 宏	室蘭工業大学
	鈴 木 澄 江	工学院大学
	高 橋 俊 之	一般社団法人セメント協会
	野 口 貴 文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	原 田 修 輔	全国生コンクリート工業組合連合会
	久 田 真	東北大学
	前 田 敏 也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	丸 山 慶一郎	一般財団法人建材試験センター
	柳 田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	吉 田 敬	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡 辺 博 志	国立研究開発法人土木研究所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 2.10.20

官 報 掲 載 日：令和 2.10.20

原 案 作 成 者：一般財団法人石炭エネルギーセンター

(〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1 Daiwa 西新橋ビル TEL 03-6402-6100)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 宇治 公隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び区分	4
4.1 種類	4
4.2 粒度による区分	4
4.3 アルカリシリカ反応性による区分	4
4.4 用途による区分	4
5 呼び方	4
6 品質	5
6.1 一般	5
6.2 化学成分及び物理的性質	5
6.3 粒度、粗粒率及び微粒分量	5
6.4 アルカリシリカ反応性	6
6.5 環境安全品質基準	6
7 試験方法	7
7.1 試料の採取及び縮分	7
7.2 化学成分及び物理的性質の試験	7
7.3 粒度試験及び微粒分量試験	7
7.4 アルカリシリカ反応性試験	7
7.5 環境安全品質試験	8
8 検査	8
8.1 化学成分、物理的性質、粒度、粗粒率、微粒分量及びアルカリシリカ反応性の検査	8
8.2 環境安全品質の検査	8
8.3 製造ロットの管理	10
8.4 検査データの保管	10
9 表示	10
10 報告	10
附属書 A (規定) 石炭ガス化スラグ細骨材の化学成分及び炭素含有率の分析方法	15
附属書 B (規定) 石炭ガス化スラグ細骨材の環境安全品質試験方法	24
解 説	29

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人石炭エネルギーセンター（JCOAL）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# コンクリート用スラグ骨材— 第5部：石炭ガス化スラグ骨材

## Slag aggregate for concrete— Part 5: Coal gasification slag aggregate

### 1 適用範囲

この規格は、コンクリートに使用する石炭ガス化スラグ骨材について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 0203 コンクリート用語
- JIS A 1102 骨材のふるい分け試験方法
- JIS A 1103 骨材の微粒分量試験方法
- JIS A 1104 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法
- JIS A 1109 細骨材の密度及び吸水率試験方法
- JIS A 1110 粗骨材の密度及び吸水率試験方法
- JIS A 1145 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）
- JIS A 1158 試験に用いる骨材の縮分方法
- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0058-1 スラグ類の化学物質試験方法—第1部：溶出量試験方法
- JIS K 0058-2 スラグ類の化学物質試験方法—第2部：含有量試験方法
- JIS K 0116 発光分光分析通則
- JIS K 0119 蛍光 X 線分析通則
- JIS K 0211 分析化学用語（基礎部門）
- JIS K 8001 試薬試験方法通則
- JIS K 8085 アンモニア水（試薬）
- JIS K 8102 エタノール（95）（試薬）
- JIS K 8155 塩化バリウム二水和物（試薬）
- JIS K 8180 塩酸（試薬）
- JIS K 8223 過塩素酸（試薬）